



かね岩海苔高台工場完成

南国市

耐震性
強化 生産4ラインに増

南国市十市の高知み 建設中だった食用海苔
なみ流通団地の高台に (のり) 製造の「かね

岩海苔」(高知市池、岩崎定之社長)の新工場が16日完成した。当初計画より生産ラインを増やし、25日から操業を始める。

東日本大震災を受けて、本社北側で計画していた予定地を、同じ団地で20倍高い5100平方メートル区画に変更。約6億5千万円を投じて今年4月から工事を進めていた。

耐震性と衛生面が強化された新工場は、売り上げが伸びている卓上海苔を製造。当初予定の3ラインから4ラインに増やし、21坪×19坪の全型換算で1日32万枚の海苔が生産可能。本社と合わせると

完成したかね岩海苔の新工場(南国市十市)

56万枚態勢となる。工場見学のリートも確保され、岩崎社長は「震災後2週間で用地変更に動いた。懸案だ

ったりスク分散がやつと落んだので、今後は売り上げ増に全力を挙げる」と話した。

(大山哲也)